

I 予算編成の考え方

- 今回の補正予算は、物価高騰への対応として、私立学校給食の食材価格高騰分への助成や医療機関、社会福祉施設等の光熱費等への支援のほか、福祉・介護職員や保育士等の賃金引上げに向けた支援に要する経費を予算化。
- また、災害への対応として、避難所の生活環境改善に向けた資機材整備のほか、道路や河川の災害関連経費を予算化。
- このほか、所要額の精査や事業の執行状況、財源の確定見込み等を踏まえて計数整理を行うとともに、将来見込まれる財政負担に備えて特定目的基金への積立を行い、残高を確保。
- 歳入予算では、県税や地方譲与税、地方交付税などを増額する一方、将来的な財政負担を軽減するため、行政改革推進債の発行を抑制するとともに、今後の経済情勢の変化や災害への備えとして財政調整基金の取崩しを一部取り止め、残高を確保。

II 予算規模

(単位:百万円)

	令和5年度 最終予算額 A	令和6年度予算額			増減率 (B-A)/A
		現計予算額	今回補正額	補正後予算額 B	
一般会計	1,077,645	1,087,973	▲407	1,087,566	0.9%
震災対応分	23,323	18,009	▲177	17,832	▲23.5%
特別会計	454,992	451,438	4,614	456,051	0.2%
震災対応分	2,726	4,242	▲398	3,845	41.0%
準公営企業会計	6,633	2,684	▲13	2,671	▲59.7%
震災対応分	96	100	▲1	99	2.9%
公営企業会計	37,257	42,110	▲2,816	39,294	5.5%
震災対応分	42	28	1	29	▲31.6%
合計(総会計)	1,576,527	1,584,205	1,377	1,585,582	0.6%
震災対応分	26,187	22,379	▲575	21,804	▲16.7%

※表示単位未満の端数処理により計が一致しない場合がある。